

雨の日の自然観察

好き？嫌い？



ねらい

雨の日ならではの自然の様子を知る。先入観で自然の姿を想像するのではなく、実際にその様子確かめることの面白さに気づく。

時間 30分

場所 雨天時の野外

人数 16人

季節 いつでも

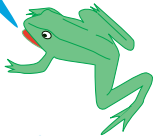
用具 傘・あれば小道具の『意思棒』（しずくの形の紙を竹ひごの先端につけたもの。上の表面には「好き」、裏面には「嫌い」を書く。）

1
いち



「皆さんの中で雨が好きな人はいますか？」その理由もたずねましょう。

2
に



「どうしてですか？」「それでは、木や石や土などの自然は、雨が降るのを喜んでいるのでしょうか？どう思いますか？」と考えてもらいましょう。

3
さん



「それでは実際に確かめに行ってみましょう！」

4
よん



範囲を決めて、各自に分かれて『雨を喜んでいるもの』『雨が苦手そうなもの』を1つずつ探してきてもらいます。

5
ご



全員で移動して実際の自然の様子を見に行く。「どこをみて雨を喜んでいる（苦手だ）と思いましたか？」自分の見つけたものを各自発表します。雨の日の自然観察の感想を聞くのもいい。「今のあなた自身は雨をどう思っていますか？」最初と意見が変わった参加者が居れば、理由を聞くと良いでしょう。

POINT



- 雨が自然界にとって大切であることにも参加者が取り上げたものを用いて具体的事例として少しふれると良い。
- グループワークにしても面白い。小道具『意思棒』（好き、きらいを示す柄付きの札）を作成、全員の意見が一度にわかり、よりプログラムを楽しむことができる。